田辺旭ケ丘線･事業概要

平成17年7月1日時点

事業概要	本路線は、近鉄大阪線で東西に分断される田辺地区と旭ケ丘地区を結ぶ地域幹線道路で、特に国道25号と国道165号、府道堺大和高田線および柏原駒ケ谷千早赤阪線が交差する近鉄河内国分駅周辺の交通渋滞の解消と通過交通円滑化のために整備が必要な路線である。 国道165号と近鉄大阪線を高架により立体交差する。 平成14年12月25日に策定された柏原市交通バリアフリー基本構想の重点整備地区「国分駅周辺地区」の中で、本路線が「特定経路」に位置づけられた。
路線名	3･4･9 田辺旭ケ丘線（タナベアサヒガオカセン）
都市計画決定	昭和47年2月25日 (府告示第235号)
延長	465m
幅員	16～22m
歩道幅員	線路東側:2.5～3.0m、線路西側:4.0m
車線数	2～4車線
事業認可取得日	平成7年度10月18日 (府告1582号)
事業認可期間	平成7年度～平成18年度
事業区間	柏原市田辺1丁目、国分本町2丁目 ～柏原市旭ケ丘3丁目
道路種別	4種2級 (計画交通量4,000～10,000台／日)
設計速度	40km／h
補助採択年度	平成8年度国庫補助採択
事業種別	街路事業
工種	一種改築
進捗状況（全体）	42%
用地の進捗	75% (公社先行買収を含む)
工事の進捗	0%
全体事業費	2,970百万円